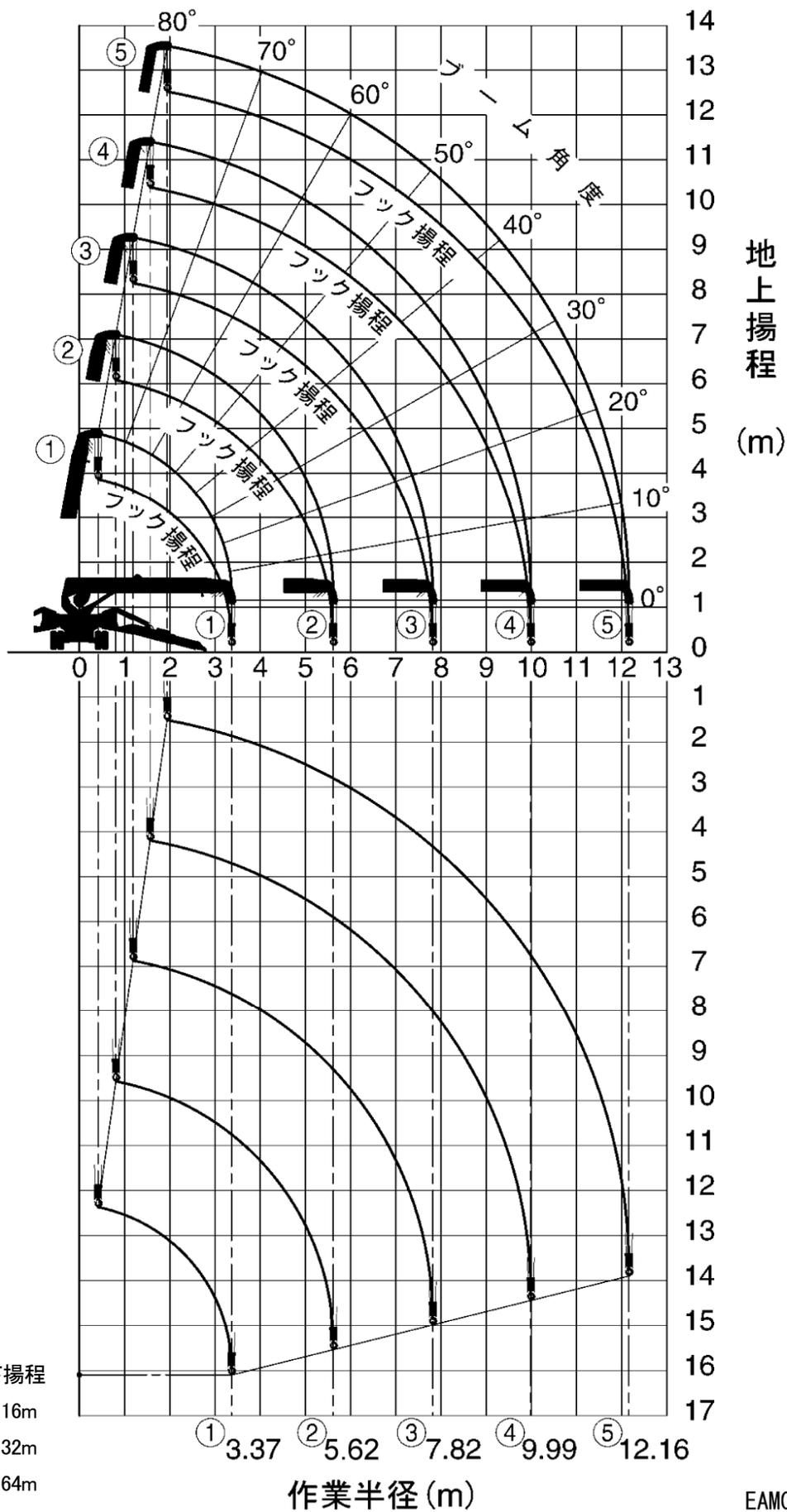


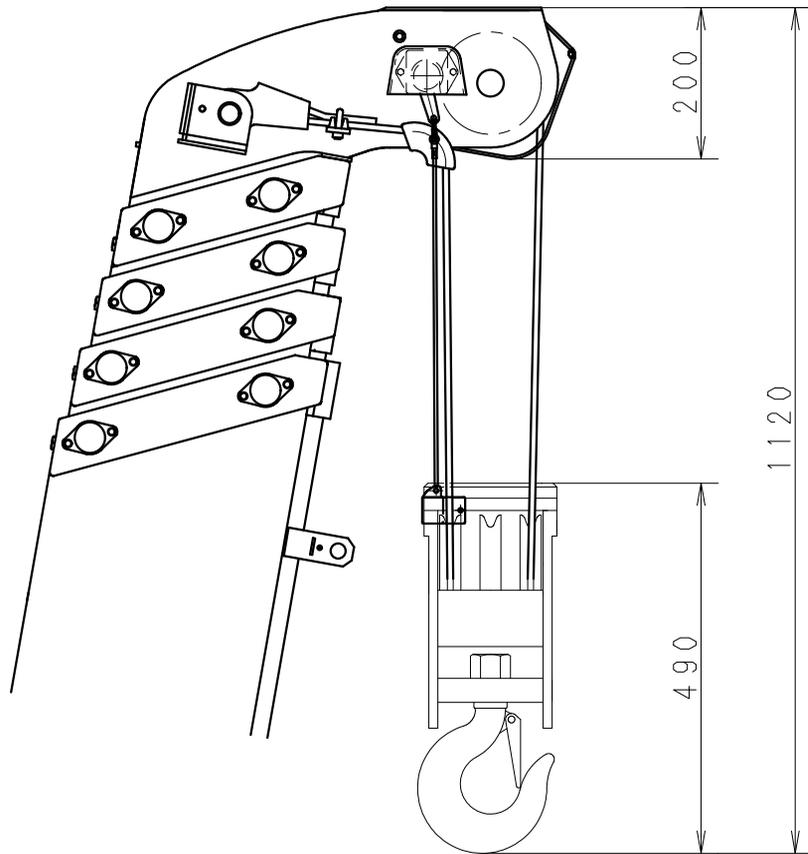
MC305CB-3 作業半径／揚程図



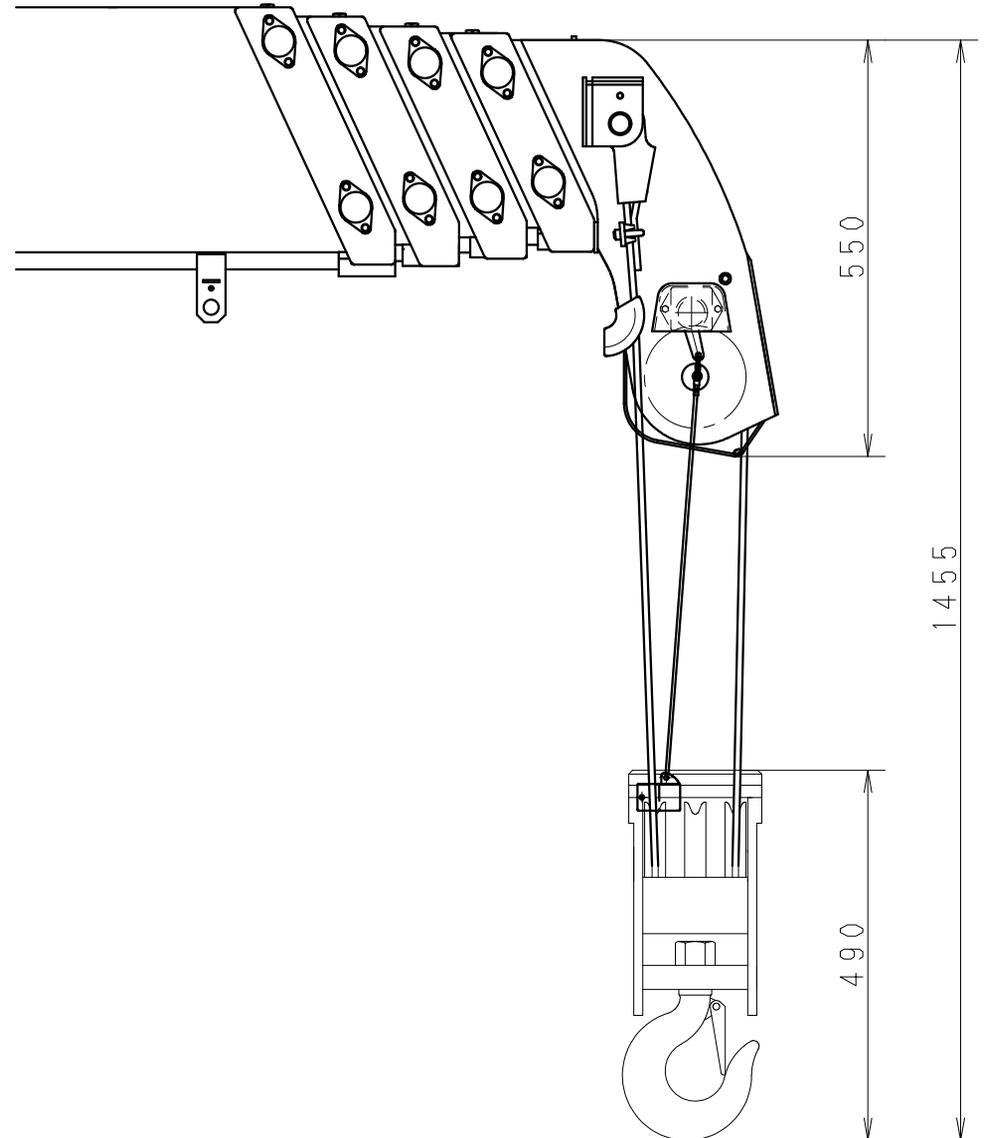
EAM07430

MC305CB-3 ブーム先端寸法図

ブーム角度80°



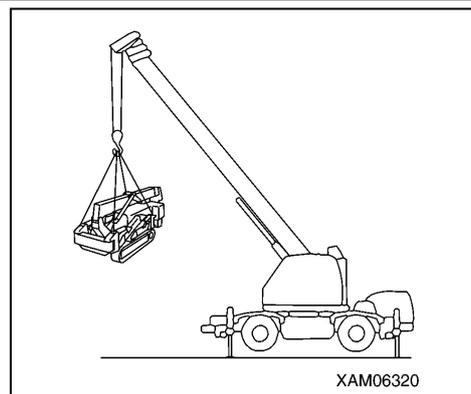
ブーム角度0°



MC305CB-3 機械の吊り上げ方法

警告

- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量(重量)に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・機械を吊り上げるときは、必ず「走行姿勢」にし、アウトリガロータリ部にポジションピン(4本)を確実に差し込んでください。
機械の重心位置は、機械の姿勢が「走行姿勢」状態で決められています。走行姿勢は、「操作編 2.5 機械の走行姿勢」の項を参照してください。
- ・本項で示す方法以外で、機械を吊り上げてはいけません。機械のバランスをくずす危険があります。



アドバイス

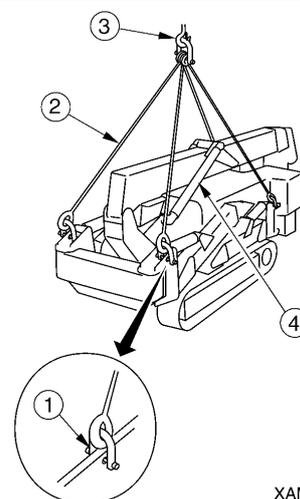
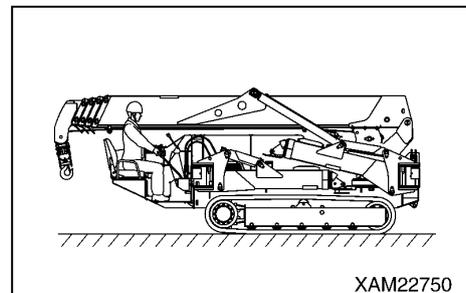
- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、つぎの資格を取得した人でなければいけません。
- ・小型移動式クレーン運転技能講習修了証
(労働安全衛生法第61条、同施行令第20条、同安衛則第41条、クレーン則第68条)
- ・玉掛技能講習修了証
(労働安全衛生法第61条、同施行令第20条、同安衛則第41条、クレーン則第221条)
- ・機械の質量(重量)は、機械に貼り付けてある銘板を参照してください。
- ・諸元値は標準仕様であり、実装時のアタッチメント、オプションにより吊り上げ方法が異なる場合があります。その場合は、当社または当社販売サービス店にお問い合わせください。

MC305CB-3 機械質量	
機器・装置	質量
本体	3925 kg
850kg サーチャーフック	+30 kg
1.5t サーチャーフック	+25 kg

103-4838200

機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所でつぎのように行ってください。

1. 機械を右図のような「走行姿勢」にしてください。
2. アウトリガロータリジョイント部にポジションピン(4本)が確実に差し込まれているか確認してください。
3. 各アウトリガロータリの穴部(4箇所)にシャックル(1)を取り付け、吊り具(2)をフック(3)に掛けてください。
4. 機械が地面を離れた直後(地切り)一旦停止し、機械が安定してからゆっくりと吊り上げてください。
5. 吊り上げた時、起伏シリンダ(4)ヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化を確認してください。



補足説明

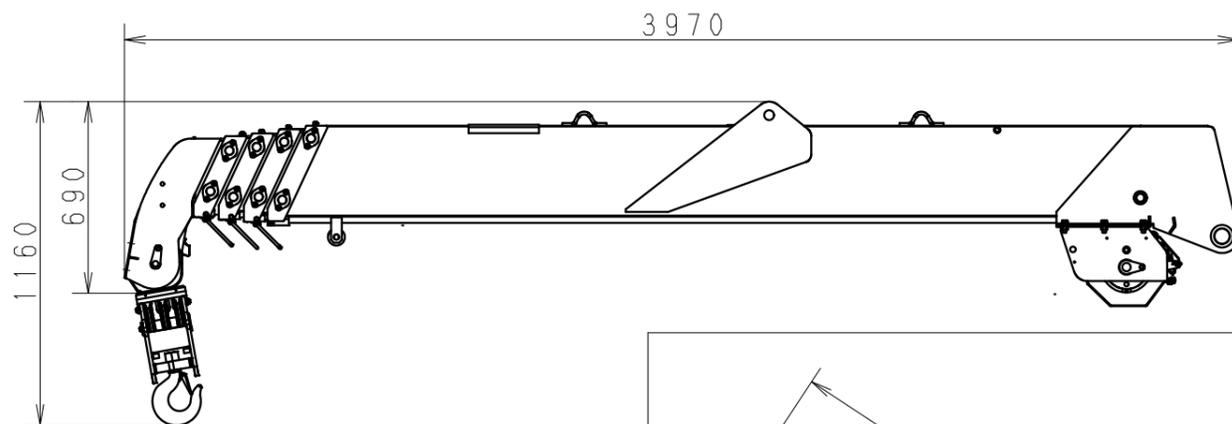
★推奨吊り具

- ・ワイヤロープ(前2本) : JIS13号ロープ相当以上
φ12.5×長さ2150mm(破断荷重7.5t以上)
片端アイロック・片端呼び12A形シンプル付き
- ・ワイヤロープ(後2本) : JIS13号ロープ相当以上
φ12.5×長さ1650mm(破断荷重7.5t以上)
片端アイロック・片端呼び12A形シンプル付き
- ・シャックル : BCまたはSCの呼び14(破断荷重7.5t以上)

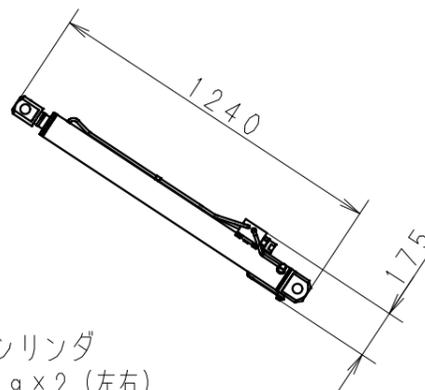
MC305CB-3 分解重量

機械総質量：3925kg

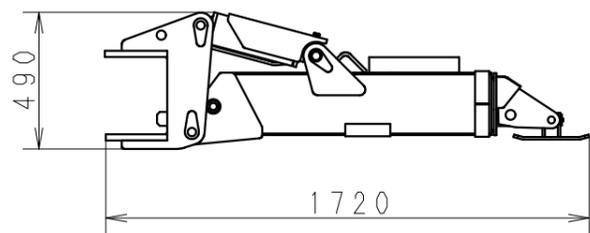
・記載の重量や寸法は目安の値になります。実際は誤差がある可能性がありますので参考値としてください。
・メインフレームとトラックフレームの取り外しはバッテリーの取り外し等の大掛かりな準備が必要になります。



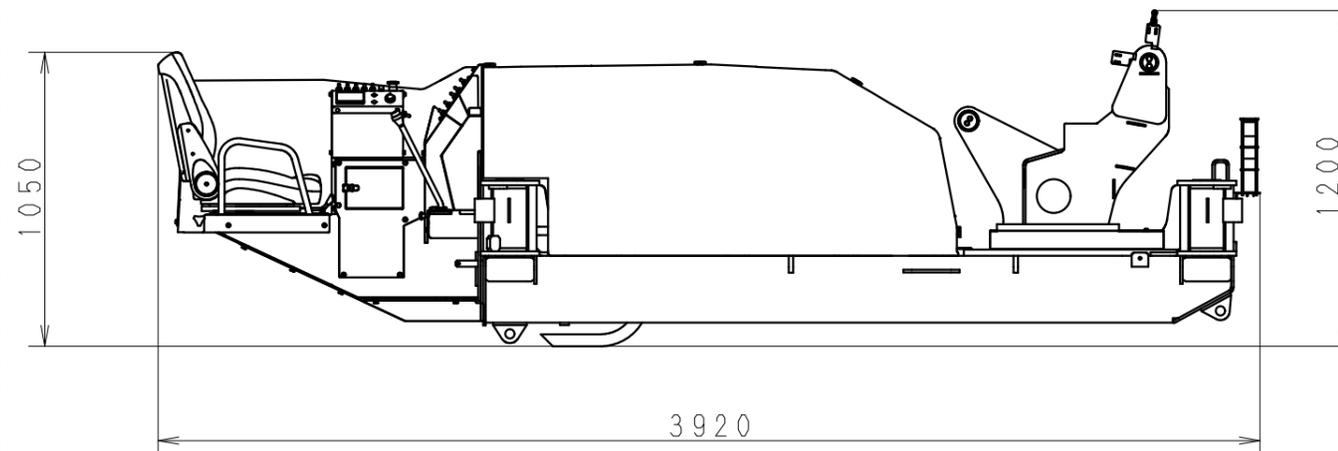
ブーム (伸縮シリンダ、ウインチ、フック含む)
675kg



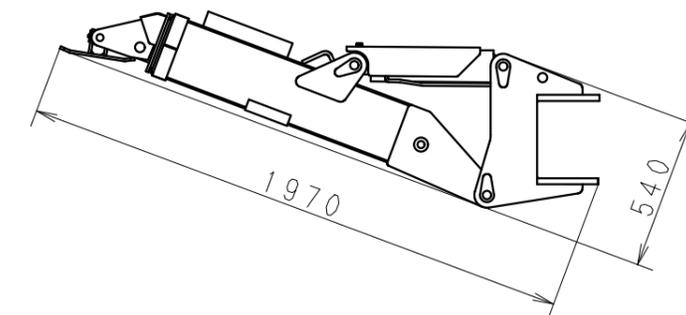
起伏シリンダ
45kg×2 (左右)



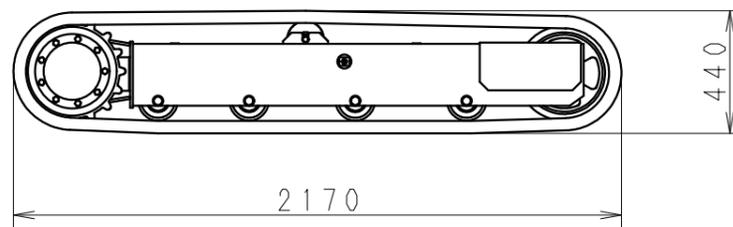
アウトリガ後方
195kg×2 (左右)



メインフレーム
1630kg



アウトリガ前方
210kg×2 (左右)



フレーム
2350kg

トラックフレーム
720kg